

経営比較分析表（平成29年度決算）

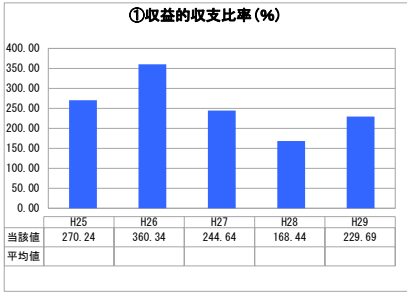
群馬県 みなかみ町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.20	19.42	2,592

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,447	781.08	24.90
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
38	0.02	1,900.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



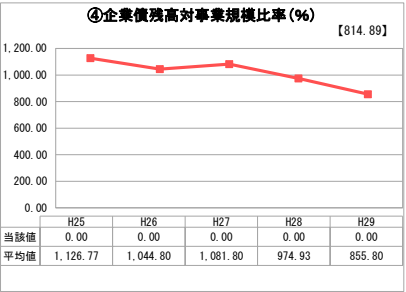
「単年度の収支」



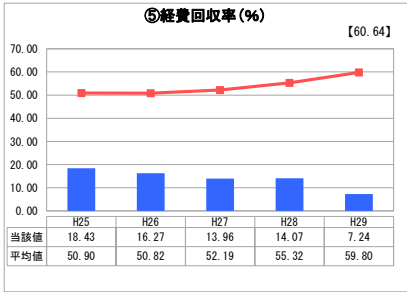
「累積欠損」



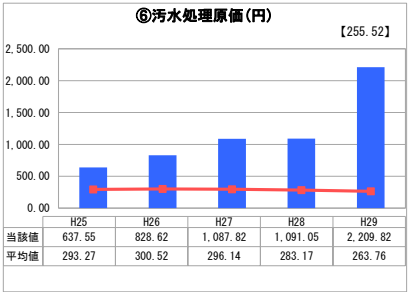
「支払能力」



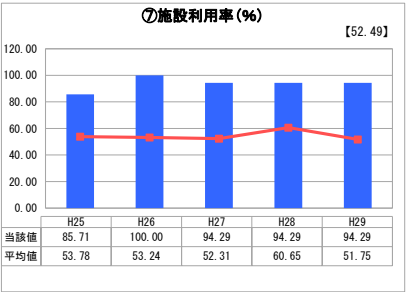
「債務残高」



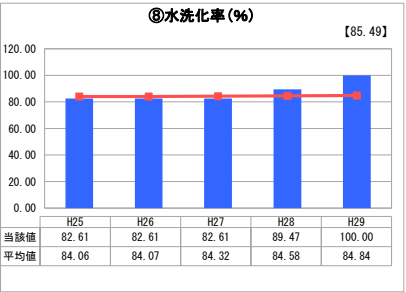
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

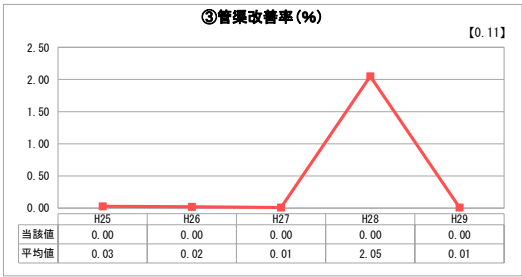
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

単年度収支は黒字だが、料金収入について、平成26年度及び平成27年度に料金改定を行いました。現状では人口減少や利用者の節水意識の高まりもあり、見込みより料金収入の増加がなかった。また、独立した集落のため、類似団体平均に比べ経費回収率が低く、汚水処理原価が高いなど効率的でない。なお、地域的に汚水処理の広域化は難しいので、効率的な維持管理が必要である。今後は施設の機能診断調査結果を踏まえて、下水道事業の経営の健全化及び効率化に努めていきたい。

2. 老朽化の状況について

供用開始から20年以上経過しており、施設や管渠の老朽化も考えられます。また、不明水も有ることから、管渠の損傷も考えられます。施設の機能診断の結果も見ながら計画的に改修が出来るようにすることが今後の課題です。

全体総括

農業集落排水事業は、農業用水の水質保全や農村地域の生活環境の保全を図ることを目的としています。施設の機能診断の結果を踏まえて、施設の維持管理は効率的におこない、改修事業には優先順位を付けた中期・長期的な計画を立て実施するなど、経営の健全化及び効率化を推進していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。